



2022年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年3月14日

上場会社名 株式会社フィット 上場取引所 東
 コード番号 1436 URL <https://www.fit-group.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴江 崇文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 浅田 浩 (TEL) 03(6433)5560
 四半期報告書提出予定日 2022年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年4月期第3四半期の連結業績(2021年5月1日~2022年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年4月期第3四半期 | 5,503 | 32.0 | 486 | 136.6 | 505 | 159.4 | 297 | 186.2 |
| 2021年4月期第3四半期 | 4,169 | — | 205 | — | 194 | — | 103 | — |

(注) 包括利益 2022年4月期第3四半期 294百万円(183.8%) 2021年4月期第3四半期 103百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年4月期第3四半期 | 71.19 | 71.13 |
| 2021年4月期第3四半期 | 24.67 | 24.65 |

(注) 2021年4月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年4月期第3四半期 | 9,584 | 4,484 | 46.8 |
| 2021年4月期 | 8,224 | 4,356 | 52.9 |

(参考) 自己資本 2022年4月期第3四半期 4,482百万円 2021年4月期 4,351百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年4月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2022年4月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2022年4月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日~2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 7,000 | 16.8 | 440 | 68.2 | 450 | 62.9 | 300 | 88.3 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年4月期3Q | 4,283,000株 | 2021年4月期 | 4,282,800株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年4月期3Q | 208,370株 | 2021年4月期 | 93,370株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2022年4月期3Q | 4,174,958株 | 2021年4月期3Q | 4,208,556株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの新変異種オミクロン株が猛威を振るい、1月に入り新規感染者数が急増したことにより、各地で再びまん延防止等重点措置が実施され、経済活動の制限や個人消費の低迷は依然続いております。

そのような状況の中、日本国内の再生可能エネルギー市場では、政府の2050年カーボンニュートラル宣言と2030年度の新たな温室効果ガス排出削減目標として、2013年度から46%削減、さらに50%削減の高みに向けて挑戦を続けることの方針が示された、第6次エネルギー基本計画が発表され、再生可能エネルギーへの期待と存在感が一層高まっております。

当社グループにおきましては、「個人参加型、持続可能エネルギー社会の実現」を掲げ、太陽光発電施設及び太陽光発電システム標準搭載の住宅を中心に、環境問題に取り組む企業や個人のお客様のニーズにお応えし、太陽光発電による再生可能エネルギーの創出に取り組んでまいりました。

一方で、足元では、半導体不足や物流費用、原材料など価格高騰の長期化による影響が懸念されており、引き続き今後の動向に注視する必要があります。

各セグメントの事業環境は下記のとおりであります。

a. クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業につきましては、個人・投資家向けにコンパクトソーラー発電所を中心に販売してまいりました。

足元では「脱炭素」に取り組む企業や個人投資家の太陽光発電投資や、FIT制度に依存しない再生可能エネルギーの需要は高まっており、事業環境は良好であると判断しております。

b. スマートホーム事業

スマートホーム事業につきましては、コロナ禍においても積極的に商品確保を行い、低価格でソーラー発電を搭載した建売住宅である「SIMPLIE II (シンプリエII)」を中心に、拡大する需要に対応し、当第3四半期連結累計期間におきましては、上場以来最高の売上高及び売上棟数となりました。

c. スtock事業

Stock事業につきましては、保有する太陽光発電施設からの売電収入及び販売した太陽光発電施設や賃貸不動産の管理等を中心に展開しており、管理物件の修繕及びメンテナンス等、O&M (オペレーションアンドメンテナンス) サービスに注力してまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間において、クリーンエネルギーとスマートホームの各事業で個人参加型、持続可能エネルギーの実現に向けて取り組んでおります。

今後は、再生可能エネルギー創出を軸に、積み上げてきた顧客基盤を最大限に活用したStock型ビジネスの強化を行ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,503,210千円(前年同四半期比32.0%増)、営業利益486,768千円(前年同四半期比136.6%増)、経常利益505,466千円(前年同四半期比159.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益297,214千円(前年同四半期比186.2%増)となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

a. クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業では販売区画数は、175.77区画(内、新規154.63区画、セカンダリー21.13区画)(前年同四半期145.31区画(内、新規106.20区画、セカンダリー39.11区画))となりました。

以上の結果、クリーンエネルギー事業の売上高は2,217,226千円(前年同四半期比16.4%増)、セグメント利益は382,220千円(前年同四半期比34.2%増)となりました。

b. スマートホーム事業

スマートホーム事業では、販売棟数は124棟（前年同四半期87棟）となりました。

以上の結果、スマートホーム事業の売上高は2,579,464千円（前年同四半期比58.3%増）、セグメント利益は282,584千円（前年同四半期比916.7%増）となりました。

c. ストック事業

ストック事業の売上高は706,519千円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益は187,432千円（前年同四半期比13.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は7,459,365千円（前連結会計年度末6,490,571千円）となり、968,794千円増加しました。主な要因は、販売用不動産が816,376千円、製品が443,129千円、現金及び預金が138,938千円、それぞれ増加した一方で、前渡金が117,983千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は2,124,970千円（前連結会計年度末1,733,949千円）となり、391,020千円増加しました。主な要因は、無形固定資産が198,171千円、有形固定資産が176,691千円、それぞれ増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は3,156,449千円（前連結会計年度末2,519,765千円）となり、636,683千円増加しました。主な要因は、買掛金が418,793千円、1年内返済予定の長期借入金が216,282千円、未払法人税等が178,768千円、それぞれ増加したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,943,053千円（前連結会計年度末1,347,994千円）となり、595,059千円増加しました。主な要因は、長期借入金が582,910千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は4,484,833千円（前連結会計年度末4,356,761千円）となり、128,072千円増加しました。主な要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により297,214千円増加した一方で、配当金の支払いにより41,894千円減少したことや、自己株式の取得109,480千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、現在入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、2022年4月期の業績予想につきましては、2021年12月13日付「2022年4月期第2四半期決算短信」で公表いたしました業績予想数値から変更ございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年4月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,462,718 | 2,601,656 |
| 売掛金 | 138,814 | 103,142 |
| 販売用不動産 | 1,150,236 | 1,966,613 |
| 製品 | 1,115,051 | 1,558,181 |
| 仕掛品 | 681,489 | 770,385 |
| 材料貯蔵品 | 19,894 | 11,860 |
| 前渡金 | 230,983 | 112,999 |
| その他 | 691,382 | 334,526 |
| 流動資産合計 | 6,490,571 | 7,459,365 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,087,515 | 1,264,207 |
| 無形固定資産 | 28,668 | 226,840 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 627,271 | 633,922 |
| 貸倒引当金 | △9,505 | — |
| 投資その他の資産合計 | 617,765 | 633,922 |
| 固定資産合計 | 1,733,949 | 2,124,970 |
| 資産合計 | 8,224,521 | 9,584,336 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 405,007 | 823,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 146,431 | 362,714 |
| 短期借入金 | 1,079,165 | 1,178,080 |
| 未払法人税等 | 53,837 | 232,606 |
| 前受金 | 305,772 | 284,180 |
| 賞与引当金 | 37,585 | 23,453 |
| 役員賞与引当金 | — | 10,000 |
| 完成工事補償引当金 | 75,624 | 66,737 |
| その他 | 416,341 | 174,877 |
| 流動負債合計 | 2,519,765 | 3,156,449 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 100,000 | 100,000 |
| 長期借入金 | 941,738 | 1,524,648 |
| 繰延税金負債 | — | 621 |
| 資産除去債務 | 18,833 | 22,454 |
| その他 | 287,423 | 295,329 |
| 固定負債合計 | 1,347,994 | 1,943,053 |
| 負債合計 | 3,867,760 | 5,099,503 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年4月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年1月31日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 979,822 | 979,853 |
| 資本剰余金 | 949,809 | 949,840 |
| 利益剰余金 | 2,487,869 | 2,727,811 |
| 自己株式 | △65,503 | △174,983 |
| 株主資本合計 | 4,351,997 | 4,482,520 |
| 新株予約権 | — | 85 |
| 非支配株主持分 | 4,763 | 2,227 |
| 純資産合計 | 4,356,761 | 4,484,833 |
| 負債純資産合計 | 8,224,521 | 9,584,336 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2021年1月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2022年1月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 4,169,641 | 5,503,210 |
| 売上原価 | 3,065,947 | 3,922,824 |
| 売上総利益 | 1,103,694 | 1,580,386 |
| 販売費及び一般管理費 | 897,927 | 1,093,617 |
| 営業利益 | 205,767 | 486,768 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 90 | 1,170 |
| 受取損害賠償金 | — | 19,500 |
| 為替差益 | 5,240 | — |
| 受取保険金 | — | 18,280 |
| その他 | 4,961 | 6,362 |
| 営業外収益合計 | 10,292 | 45,313 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,092 | 16,220 |
| 社債利息 | 594 | 604 |
| 持分法による投資損失 | 831 | 8,455 |
| 借入金繰上返済関連費用 | 4,595 | — |
| その他 | 1,049 | 1,335 |
| 営業外費用合計 | 21,163 | 26,615 |
| 経常利益 | 194,896 | 505,466 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 43,226 | — |
| 特別損失合計 | 43,226 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 151,669 | 505,466 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 61,199 | 198,916 |
| 法人税等調整額 | △13,371 | 11,870 |
| 法人税等合計 | 47,827 | 210,787 |
| 四半期純利益 | 103,841 | 294,679 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | — | △2,535 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 103,841 | 297,214 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2021年1月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2022年1月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 103,841 | 294,679 |
| その他の包括利益 | | |
| 繰延ヘッジ損益 | 4 | — |
| その他の包括利益合計 | 4 | — |
| 四半期包括利益 | 103,846 | 294,679 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 103,846 | 297,214 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | △2,535 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年12月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式115,000株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が109,480千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が174,983千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間に与える影響額は軽微であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、時価をもって四半期連結貸借対照表価額とする金融商品を保有しておらず、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。